

令和5年度 第1回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

1 開 会

2 委員紹介

3 館長あいさつ

4 議 事

(1) 令和4年度考古博物館事業実績について

(2) 令和5年度考古博物館経過・予定事業について

(3) 考古博物館利用状況について

(4) その他

1 考古博物館所蔵土器買い戻しに係る損害賠償請求事件の
和解等について

2 x Rを活用した取り組みについて

5 閉 会

令和5年10月26日(木)

山梨県立考古博物館

資料目次

(1) 令和4年度 考古博物館事業実績について

1	展示活動	1～	2
2	学習会・講座など	2～	5
3	イベント	5～	6
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	6	
5	古代衣装貸出	6	
6	ボランティアガイドの実施	7	

(2) 令和5年度 考古博物館事業経過・予定について

1	展示活動	8～	9
2	学習会・講座など	9～	11
3	イベント	11～	12
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	13	
5	古代衣装貸出	13	
6	ボランティアガイドの実施	13	

(3) 考古博物館の利用状況について

1	利用者状況	14	
2	常設展観覧者数過年度比較	15	
3	学校関係利用状況	16	
4	外国人利用者数	17	

(4) その他

1	考古博物館所蔵土器買い戻しに係る損害賠償請求事件の 和解等について	18	
2	x Rを活用した取り組みについて	19～	21

◇	山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	22～	25
---	-----------------------	-----	----

(1) 令和4年度 考古博物館事業経過について

1 展示活動

(1) 第39回特別展『甲斐の勇者—その原像を探る—』

会期： 9月28日(水)～11月23日(水・祝)

開催日数48日

会場：当館

入館者：5,631人

概要： 672年に勃発した天智天皇の皇位継承をめぐる古代日本最大の内乱である「壬申の乱」。大海人皇子(後の天武天皇)方の騎兵として甲斐国から動員された人物として『日本書紀』に記述がある「甲斐の勇者」をテーマに設定しました。

展示では、山梨と各地の古墳出土品を比較しながら、「甲斐の勇者」の原像を探るとともに、古墳時代を通じての被葬者像とその歴史的背景について考える機会としました。

(2) 企画展

① 春季企画展『心を描く縄文人—人面・土偶装飾土器の世界—』

会期： 4月16日(土)～6月12日(日)

開催日数51日

会場：当館多目的室

入館者：4,734人

概要： 中部高地で多く発見されている縄文時代の人面・土偶装飾土器を集成し企画展として開催しました。

展示では、山梨県内出土の資料の他、県外の著名な資料をパネルで展示し、出産文土器などに代表される縄文人の精神文化を紹介する機会としました。

② 山の洲文化財交流展『富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術』

会期： 7月16日(土)～8月28日(日)

開催日数38日

会場：当館多目的室

入館者：5,708人

概要： 昨年度より始まった「バイ・ふじのくに」文化財交流事業の2年目となる、静岡県・長野県と連携して開催する交流展です。この展示では、いにしえより交流があった静岡県と長野県の縄文時代の資料を山梨県で公開し、静岡県と長野県で山梨県の資料を公開しそれぞれの魅力を発信していく事業となっています。

展示では、最古級の旧石器時代の石器など山梨で発見例の少ない資料や、相互に交流関係があったことを示す土器などを紹介しました。会期中には静岡県職員によるギャラリートーク、ワークショップも開催しました。

③ 冬季企画展『笛吹市の出土品Ⅲ-仏教の伝来と文字-』

会期： 12月10日(土)～1月22日(日)

開催日数30日

会場：当館多目的室

入館者：516人

概要： 笛吹市の出土品シリーズの3回目、今回は古墳・奈良・平安時代の仏教伝来関連の資料を展示。寺本廃寺や国分寺・国分尼寺など古代の仏教寺院から出土した資料や墨書や刻書の文字資料をしました。

- ④ 新年干支展『卯（うさぎ）』
 会 期： 1月 2日（月）～29日（日） 開催日数20日
 会 場：当館エントランスホール
 概 要：今年の干支である卯が施された考古資料を紹介しました。
- ⑤ 『第20回わたしたちの研究室・研究成果展示会』
 会 期： 2月11日（土）～ 3月 5日（日） 開催日数20日
 会 場：当館多目的室
 概 要：自由研究の成果を展示しました。受賞作品並びに全ての応募作品を紹介しました。
- ⑥ 『富士山ミニ展示』
 会 期： 2月 4日（土）～ 2月26日（日） 開催日数20日
 会 場：当館エントランスホール
 概 要：富士山の日に合わせて、富士山に関連した考古資料を紹介。
- ⑦ 『風土記の丘望見展』
 会 期： 1月28日（土）～ 3月 5日（日） 開催日数32日
 会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール
 概 要：上の平遺跡の県指定史跡指定を記念した展示会。出土品や発掘成果を紹介しました。
- ⑧ 『山梨の遺跡発掘展2023』
 会 期： 3月11日（土）～4月 9日（日） 開催日数26日
 会 場：当館多目的室
 主 催：山梨県埋蔵文化財センター
 概 要：今年度の発掘成果などを中心に紹介する展示会を開催しました。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「中部高地の縄文」をテーマに開催しました。県内の若手研究者を中心に最新の研究成果を踏まえ中部高地の縄文文化を考える機会としました。

※オンライン配信と現地会場による開催

- 第1回 5月21日（土） 「土器や土偶に描かれた「顔」」
 講師：山梨県埋蔵文化財センター 佐賀 桃子 参加者：81人
- 第2回 6月18日（土） 「煮炊きに使われない縄文土器」
 講師：山梨県埋蔵文化財センター 岩永 祐貴 参加者：70人
- 第3回 7月 9日（土） 「環境変動と八ヶ岳山麓の縄文社会」
 講師：北杜市教育委員会 生山 優実 氏 参加者：81人
- 第4回 7月23日（土） 「百年の論争 縄文農耕論の今」
 講師：帝京大学文化財研究所客員教授・南アルプス市ふるさと伝承館館長
 中山 誠二 氏 参加者：70人

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説しました。

- 第1回 6月 4日(土) 「縄文時代の儀礼と祭祀」 参加者：79人
- 第2回 9月 3日(土) 「民族考古学へのアプローチ」 参加者：64人
- 第3回 12月10日(土) 「中部高地の縄文土器」 参加者：66人
- 第4回 3月18日(土) 「縄文土器型式はなぜ成立するのか」
参加者：78人

(3) 山の洲文化財交流展関連講座（ギャラリートーク・ワークショップ）

山の洲文化財交流展『富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術』の開催に合わせて、考古博物館の企画展示室で静岡県の遺跡の特徴や出土品について解説し、関連してワークショップを行いました。

- ギャラリートーク 7月24日(日)・8月 7日(日) (山梨会場)
講師：静岡県埋蔵文化財センター 富樫 孝志 氏 参加者：158人
- ギャラリートーク 10月13日(木)、11月 5日(土) (静岡会場)
講師：当館学芸員 参加者：40人
- ワークショップ 7月24日(日)・8月 7日(日)
講師：静岡県埋蔵文化財センター職員 参加者：96人
- ワークショップ 10月15日(土)・16日(日)
講師：山梨県埋蔵文化財センター職員 参加者：62人

(4) 山の洲文化財交流展記念講演会

山の洲文化財交流展『富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術』の開催を記念して御講演いただきました。

- 8月20日(土) 「縄文時代における海辺の人と山の人の食性について」
講師：東海大学講師 日下 宗一郎 氏 参加者：44人

(5) 特別展記念講演会

第39回特別展『甲斐の勇者』の開催を記念して、講演いただきました。

- 第1回 10月 9日(日) 「甲斐の先進性」
講師：埋蔵文化財センター 小林 健二 参加者：68人
- 第2回 10月30日(日) 「「原東海軍」の地域集団と武器」
講師：富士市埋蔵文化財調査室 藤村 翔 氏 参加者：59人
- 第3回 11月13日(日) 「古墳の被葬者」
講師：明治大学教授 若狭 徹 氏 参加者：81人

- (6) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）
- | | | | |
|------|-----------------|-----------------------|---------|
| 第1回 | 4月24日（日） | 「縄文時代のサメの歯形のペンダントづくり」 | 参加者：30人 |
| 第2回 | 6月5日（日） | 「縄文風の陶器づくりにチャレンジ」 | 参加者：30人 |
| 第3回 | 7月3日（日） | 「縄文時代の土製耳飾りづくり」 | 参加者：28人 |
| 第4回 | 8月7日（日） | 「縄文時代の藍染め」 | 参加者：25人 |
| 第5回 | 8月21日（日） | 「縄文時代の石製耳飾りのペンダントづくり」 | 参加者：25人 |
| 第6回 | 9月25日（日） | 「弥生時代の石包丁づくり」 | 参加者：30人 |
| 第7回 | 10月9日（日） | 「石膏で古代の鏡づくり」 | 参加者：30人 |
| 第8回 | 11月6日（日） | 「大きな勾玉のペンダントづくり」 | 参加者：16人 |
| 第9回 | 12月4日（日） | 「縄文と干支（卯）の土鈴づくり」 | 参加者：30人 |
| 第10回 | 1月15日（日）・29日（日） | 「土偶づくり」 | 参加者：92人 |
| 第11回 | 2月19日（日） | 「弥生時代の矢じりのペンダントづくり」 | 参加者：42人 |
| 第12回 | 3月12日（日） | 「縄文時代のかごづくり」 | 参加者：44人 |
- (7) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）
- | | | | |
|-----|-------------------------|-------------------|---------|
| 第1回 | 4月16日（土） | 「トンボ玉作り」 | 参加者：8人 |
| 第2回 | 5月28日（土） | 「陶器作り」 | 参加者：8人 |
| 第3回 | 6月25日（土） | 「草木染め」 | 参加者：9人 |
| 第4回 | 7月16日（土）・23（土）・8月13日（土） | 「土偶作り」 | 参加者：26人 |
| 第5回 | 8月20日（土） | 「青銅鏡作り」 | 参加者：19人 |
| 第6回 | 9月10日（土） | 「豪華な勾玉作り」 | 参加者：7人 |
| 第7回 | 10月22日（土） | 「古墳クッキー作り」 | 参加者：9人 |
| 第8回 | 12月3日（土） | 「干支の土鈴「卯」と泥メンコ作り」 | 参加者：6人 |
| 第9回 | 1月7日（土）・14日（土）・29日（日） | 「縄文土器作り」 | 参加者：42人 |

第10回 2月11日(土)・12日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り」
参加者：33人

第11回 3月11日(土) 「珧状耳飾作り」
参加者：13人

3 イベント

(1) 第33回風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)

5月3日(火・祝)・4日(水・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
参加者：1,672人

火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しています。今回も感染防止対策を徹底の上、参加人数を限定して開催しました。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

- ① 7月24日(日)・8月7日(日)
『山の洲文化財交流事業関連ワークショップ』(静岡県職員対応)
参加者：96人
- ② 11月20日(日) 『県民の日イベント』 参加者：465人
- ③ 1月2・3日(月・火) 『お正月イベント』 参加者：79人
- ④ 3月5日(日) 『考古博物館 de 春まつり』 参加者：855人

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理と共催)

- ① 7月2日(土)～8月7日(日) 『風土記の丘で七夕飾り』
- ② 7月3日(日) 『山梨の七夕人形作り』 参加者：12人
- ③ 9月4日(日) 『方形周溝墓で星を見る会』 参加者：40人
- ④ 10月16日(日) 『秋のふれあいまつり』 参加者：387人
- ⑤ 11月3日(木・祝) 『樹木と古墳のガイドツアー』 参加者：10人
- ⑥ 11月23日(水・祝) 『落ち葉で焼きいも』※雨天にて中止
- ⑦ 1月9日(月・祝) 『古代米のおしるこ』 参加者：230人

(4) 夏休みスタンプラリー

夏休み中に行った勾玉作り、黒曜石割イベントなど 参加者：257人

(5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

※チラシ配布のみの参加。

(6) 第20回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日時：2月11日(土・祝)
会場：風土記の丘研修センター講堂
応募件数：321人
参加人数：525人

(7) 縄文王国山梨

県立美術館ワークショップ室にて土偶作りを2回行いました。

10月 2日(日)参加者:87人、11月 6日(日)参加者:116人

(8) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)

- ① 火起こし体験 参加者:3,580人
② 勾玉作り 参加者:2,813人

(9) 埋蔵文化財センターによる縄文土器出張展示

- ① 7月30日(土)・31日(日) 山の洲文化財交流事業
アピタ静岡店 参加者:829人
② 8月12日(金)・13日(土)・14日(日) マチナカ博物館
山梨県立図書館 参加者:196人

(10) 観光・地域活性化に向けた取り組み

- ① 考古博物館と周辺施設(直売所・温泉)との連携キャンペーン 参加者:445人
② ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ!甲斐風土記の丘」
ダウンロード数 14,158人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

(1) 学芸員実習 7月28日(木)~8月7日(日)

都留文科大学文学部 1人
国士舘大学文学部 1人
跡見学園女子大学文学部 1人
早川町立早川中学校 1人
山梨英和中学校 1人
甲斐市立竜王北中学校 4人
甲府市立笛南中学校 2人
ニューライフインター
ナショナルスクール 1人

(2) 職場体験 7月 6日(水)

8月 2日(火)
8月11日(木)~12日(金)
8月17日(水)~18日(木)
8月27日(土)~28日(日)

(3) インターンシップ

7月26日(火)~28日(木) 県立白根高校 3人

5 古代衣装貸出

6月11日(土)~6月25日(土) 富士川町立鯉沢小学校
7月16日(土)~7月30日(土) 甲州市立玉宮小学校
7月25日(月)~8月24日(水) 近畿大学附属新宮高校中学校
9月21日(水)~9月30日(金) 県立わかば支援学校
9月30日(金)~10月28日(金) 特別支援うぐいすの杜学園
10月 6日(木)~10月28日(金) 駿台甲府小学校
10月 8日(土)~11月 6日(日) 都立八王子盲学校
11月10日(木)~12月 9日(金) 県立やまびこ支援学校
11月23日(水)~12月18日(日) 県立ふじざくら支援学校
1月18日(水)~2月 3日(金) 県立あけぼの支援学校

6 ボランティアガイドの実施

令和4年度のボランティアガイドは総勢19名を認定。学校対応、夏休み中にガイドを実施しました。

(2) 令和5年度 考古博物館事業経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 第40回特別展「星降る中部高地の縄文世界

－黒曜石ネットワークによる物流と人流－

会 期： 7月 8日(土)～ 9月 3日(日) 開催日数51日

会 場：当館

入館者：6,909人

概 要： 平成30年度に「星降る中部高地の縄文世界－数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に会う旅－」(長野県と共同申請)が日本遺産に認定され、山梨・長野両県における黒曜石を通じた物流と交流によって培われた我が国の縄文文化を代表する遺跡や土器・土偶といった文化財が評価されてきました。

長野県では黒曜石の鉱山(八ヶ岳)を背景にムラが造られ、交流を通じた造形美な土器や土偶が造られてきました。一方、山梨県では、採掘された黒曜石をブランド化し、物流の拠点として大きなムラが造られ、周辺地域の影響を受けながら独自に発達した優美な土器などが造られてきました。道具の材料としては、列島内で最大かつ良質な石材であり、黒曜石の交易ルートの発達と共に約五千年前に列島内で最も先進地域となりました。

展示では、山梨と長野県各地の日本遺産の構成文化財を比較しながら、「中部高地の縄文世界」の原像を探るとともに、いにしえから行われていた物流による交流の歴史的背景について考える機会としました。

特別巡回展『発掘された日本列島2023』(山梨会場)

会 期： 9月16日(土)～10月29日(日) 開催日数41日

会 場：当館

主 催：文化庁・山梨県立考古博物館全国新聞社事業協議会、山梨日日新聞社・対馬博物館

概 要： 平成7年度から開催され、今年度で29回目となります。マスコミを賑わせた全国各地の遺跡から発掘された最新の出土品とその成果をいち早く国民に成果を知っていただく全国規模の巡回展です。

展示資料について文化庁が監修したもので約500点を展示しています。展示では、埋蔵文化財の最新の調査成果に触れることにより、埋蔵文化財の保護・活用の意義の知識を深めると共に、地域の史跡を知り文化財保護と活用の両面に理解を深める機会とします。

(2) 企画展

① 春季企画展『御嶽昇仙峡国名勝指定100周年記念 クリスタルロード』

会 期： 4月15日(土)～ 6月11日(日) 開催日数51日

会 場：当館多目的室

入館者：5,328人

連携館：山梨ジュエリーミュージアム(研磨加工体験イベント)

概 要： 山梨の特産品である水晶利用の歴史をクローズアップし、旧石器・縄文時代の水晶加工遺跡や水晶製の石器をはじめ、古墳時代の装身具、現世標本に至るまでの3万年以上にわたる山梨の人々と水晶のかかわりを考古資料から探っていきました。

- ② 令和5年度山の洲文化財交流展『発掘が語る地域交流-フォッサマグナがつなぐ新潟・長野・山梨・山梨・静岡』
 会 期：12月 9日（土）～ 1月21日（日） 開催日数35日
 会 場：当館多目的室
 概 要：山の洲文化財交流事業の一環として、山梨・静岡・長野・新潟と合同で開催する交流展です。展示では、各県が誇るイチオシの文化財を巡回展示しながら、いにしえから多くの人や物が交流する交通の要衝として発展した様子を考古資料で紹介します。
- ③ 新年干支展『辰（タツ）』
 会 期：1月 2日（火）～ 1月28日（日） 開催日数20日
 会 場：当館エントランスホール
- ④ 『第21回わたしたちの研究室・研究成果展示会』
 会 期：2月10日（土）～ 3月 3日（日） 開催日数20日
 会 場：当館多目的室
- ⑤ 『富士山ミニ展示』
 会 期：2月 3日（土）～ 2月25日（日） 開催日数20日
 会 場：当館エントランスホール
- ⑥ 『風土記の丘望見展』
 会 期：2月23日（金）～ 3月31日（日） 開催日数34日
 会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール
- ⑦ 『山梨の遺跡発掘展2024』
 会 期：3月 9日（土）～ 4月 7日（日） 開催日数24日
 会 場：当館多目的室
 主 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「甲斐武田氏の終焉と天正壬午の戦い」（仮）をテーマに開催します。武田氏の興隆と終焉にとともに勃興した城を紹介しながら、最新の調査成果を踏まえ紹介する機会とします。

※オンライン配信による開催。

11月から1月にかけて全4回。武田氏館跡、新府城跡、天正壬午の戦いで使われた城郭群（北杜）、甲府城跡と新知見。

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

山梨の縄文後・晩期の祭祀や土器などに見られる特色について紹介します。

- 第1回 6月3日(土) 「縄文時代の交易と地域間交流-黒曜石・水晶・ヒスイ-」
参加者96名
- 第2回 9月2日(土) 「中部高地の土製耳飾り」
参加者88名
- 第3回 12月9日(土) 「金生遺跡と石棒儀礼」
- 第4回 3月16日(土) 「富士山周辺の配石遺構」

(3) 特別展記念講演会・座談会

第40回特別展『星降る中部高地の縄文世界ー黒曜石ネットワークによる物流と人流ー』の開催を記念して、特別展への理解を深めることを目的に、講演と討議を行いました。

- ・日 時 8月20日(日)
- ・場 所 風土記の丘研修センター(ネット同時配信)
- ・基調講演
高橋館長(日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の魅力)
- ・講演会
大竹 幸恵 氏(日本考古学会副会長、長和町教育委員会)
一部・黒曜石鉱山と人々の暮らし
保坂 康夫 氏(身延山大学)
二部・縄文時代の黒曜石の流通
栗島 義明 氏(明治大学研究知財機構 特任教授)
三部・装身具の流通から見た中部高地
小野 正文 氏(元山梨県埋蔵文化財センター所長)
四部・抽象文土器の展開
- ・座談会
野代 幸和(学芸課長)コーディネーター

参加者:253名(当日参加者) YouTube 視聴者約3,000名

(4) ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

- 第1回 4月9日(日) 「縄文時代の石製耳飾りづくり」
参加者:41名
- 第2回 5月21日(日) 「大きな勾玉の首飾りづくり」
参加者:44名
- 第3回 6月18日(日) 「紙すきでうちわづくり」
参加者:39名
- 第4回 7月16日(日) 「縄文のかごづくり」
参加者:49名
- 第5回 8月13日(日) 「縄文と弥生の土笛づくり」
参加者:54名
- 第6回 9月17日(日) 「江戸時代の藍染め」
参加者:49名
- 第7回 10月8日(日) 「弥生時代の石包丁づくり」
参加者:44人

- 第8回 11月12日(日) 「縄文風陶器づくり」
- 第9回 12月 3日(日) 「干支の縄文土鈴づくり」
- 第10回 1月14日(日)・28日(日) 「縄文土器づくり」
- 第11回 2月18日(日) 「縄文時代のサメの歯形のペンダントづくり」
- 第12回 3月10日(日) 「青銅鏡風ミニチュア鏡のキーホルダーづくり」

(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (風土記の丘研修センター)

- 第1回 4月22日(土)・23日(日) 「トンボ玉作り」
参加者：12名
- 第2回 5月20日(土) 「黒曜石で石器作り」
参加者：6名
- 第3回 6月17日(土) 「縄文の編み物作り」
参加者：13名
- 第4回 7月15日(土) 「石製ペンダント作り」
参加者：9名
- 第5回 8月19日(土)・20日(日) 「縄文クッキー作り」
参加者：24名
- 第6回 9月 2日(土) 「染め物作り」
参加者：10名
- 第7回 10月28日(土) 「縄文風陶器作り」
- 第8回 11月25日(土) 「干支土鈴「辰」と泥メンコ作り」
- 第9回 1月 6日(土)・13日(土)・28日(日) 「縄文土器作り」
- 第10回 2月10日(土)・11日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り」
- 第11回 3月 9日(土) 「青銅器作り」

3 イベント

(1) 第34回風土記の丘こどもまつり (公園管理者と共催)

5月3日(水・祝)・4日(木・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親
しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しました。
参加者：5286名

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

- ① 11月20日(月) 『県民の日イベント』
- ② 1月 2日(月)・3日(火) 『お正月イベント』
- ③ 2月23日(金・祝) 『富士山の日関連イベント』
- ④ 3月 3日(日) 『考古博物館 de 春まつり』

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント (公園指定管理と共催)

- ① 7月 1日(土)～ 8月22日(火：旧暦の七夕)
『風土記の丘で七夕飾り』
参加者：145名

- ② 7月 1日(土)・2日(日) 『山梨の七夕人形を作ろう』
参加者：30名
- ③ 9月 2日(土) 『方形周溝墓で星を見る会』
参加者：39名
- ④ 10月15日(日・祝) 『秋のふれあいまつり』(雨天中止)
- ⑤ 10月29日(日) 『樹木と古墳のガイドツアー』
- ⑥ 11月23日(木・祝) 『落ち葉で焼きいも』
- ⑦ 1月 8日(月・祝) 『古代米でもちつき』

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

日時：7月17日(月・祝)

会場：アイメッセ山梨

参加者：5455名

(5) 第21回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日時：2月10日(土)

会場：考古博物館エントランスホール

(6) 縄文王国山梨

特別展に合わせて連携イベントを実施。

日時：7月30日(日)

会場：考古博物館エントランスホール

参加者：215名

(7) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)

団体向けと少人数向けにそれぞれ実施します。(9月末時点)

① 火起こし体験 参加者：2363名(無償)

② 勾玉作り 参加者：1707名(有償)など

(8) 埋蔵文化財センターによる縄文土器出張展示

① マチナカ博物館による外部出張展示を実施。

藤村記念館 開催日：8月12・13日(土・日) 参加者：273名

甲府城(鍛冶曲輪)

② 出前授業等による外部貸出などを実施。

小中学校・高等学校・大学など

(9) 観光・地域活性化に向けた取り組み

① 考古博物館と周辺施設(直売所・温泉等)との連携キャンペーン

② ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ!甲斐風土記の丘」

③ 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化

④ 日本遺産 星降る中部高地の縄文世界との連携事業の実施

⑤ 山の洲交流事業による中部四県との文化財交流事業の実施

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

(1) 学芸員実習 7月27日(木)～8月6日(日)

東京学芸大学教育学部	1人
立命館大学文学部	1人
神奈川大学国際日本学部	1人
茨城大学人文社会学部	1人

(2) 職場体験 学校向け

5月18日(木)・19日(金)	小菅村立小菅中学校	1人
6月1日(木)・2日(金)	甲斐市立玉幡中学校	3人
7月25日(火)・26日(水)	甲府市立城南中学校	1人
8月8日(火)	甲府市立城南中学校	1人
8月17日(木)・18日(金)	甲府市立城南中学校	1人
7月25日(火)・26日(水)	甲府市立北東中学校	2人
	甲府市立上条中学校	3人
8月8日(火)	甲府市立上条中学校	1人
8月9日(水)	甲府市立上条中学校	1人
8月9日(水)・10日(木)	甲府市立北東中学校	2人
8月10日(木)	甲府市立上条中学校	1人
8月11日(金)・12日(土)	北杜市立甲陵中学校	1人
8月11日(金)	昭和町立押原中学校	2人
8月15日(火)・16日(水)	甲府市立北中学校	1人
	甲府市立南中学校	4人
8月16日(水)	昭和町立押原中学校	2人
8月17日(木)・18日(金)	北杜市立甲陵中学校	1人
	甲府市立富竹中学校	1人
	南アルプス市立楡形中学校	1人
8月19日(土)	昭和町立押原中学校	4人
8月22日(火)・23日(水)	甲府市立北東中学校	4人
8月23日(水)・24日(木)	甲府市立北東中学校	4人

(3) インターンシップ

9月30日(土)	山梨県立吉田高等学校	1人
----------	------------	----

5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。

主に学校、団体向けに貸出。

4月20日(木)～5月20日(土)	富士河口湖町立勝山小学校
5月19日(金)～6月19日(月)	県立特別支援学校うぐいすの杜学園
6月4日(日)～6月18日(日)	早川町立早川北小学校
9月22日(金)～11月28日(火)	中央市教育委員会

6 ボランティアガイドの実施

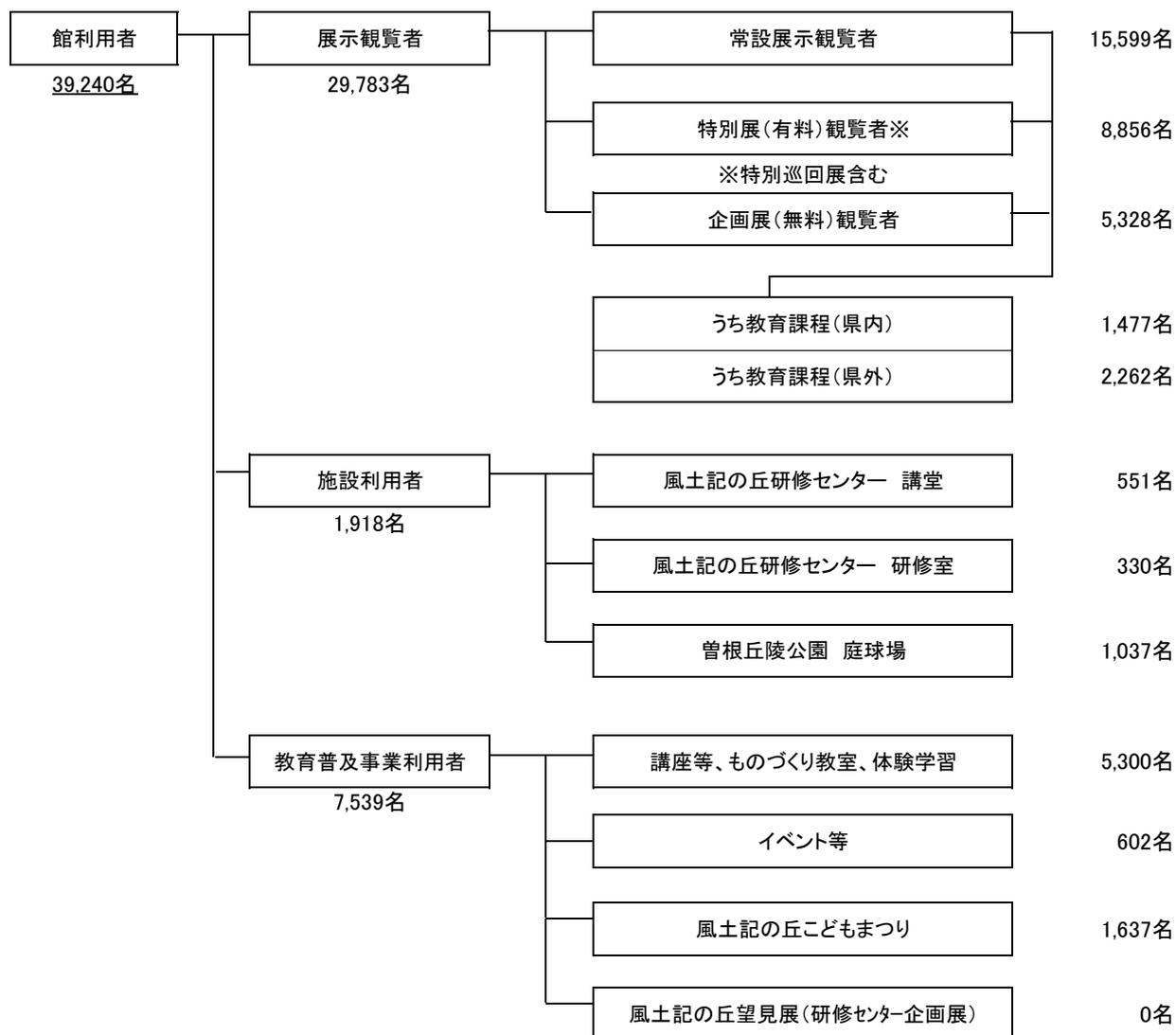
学校見学、団体見学等において実施予定。

(3) 考古博物館の利用状況について

1 令和5年度 考古博物館における「利用者」の状況

※ 令和5年度9月末現在

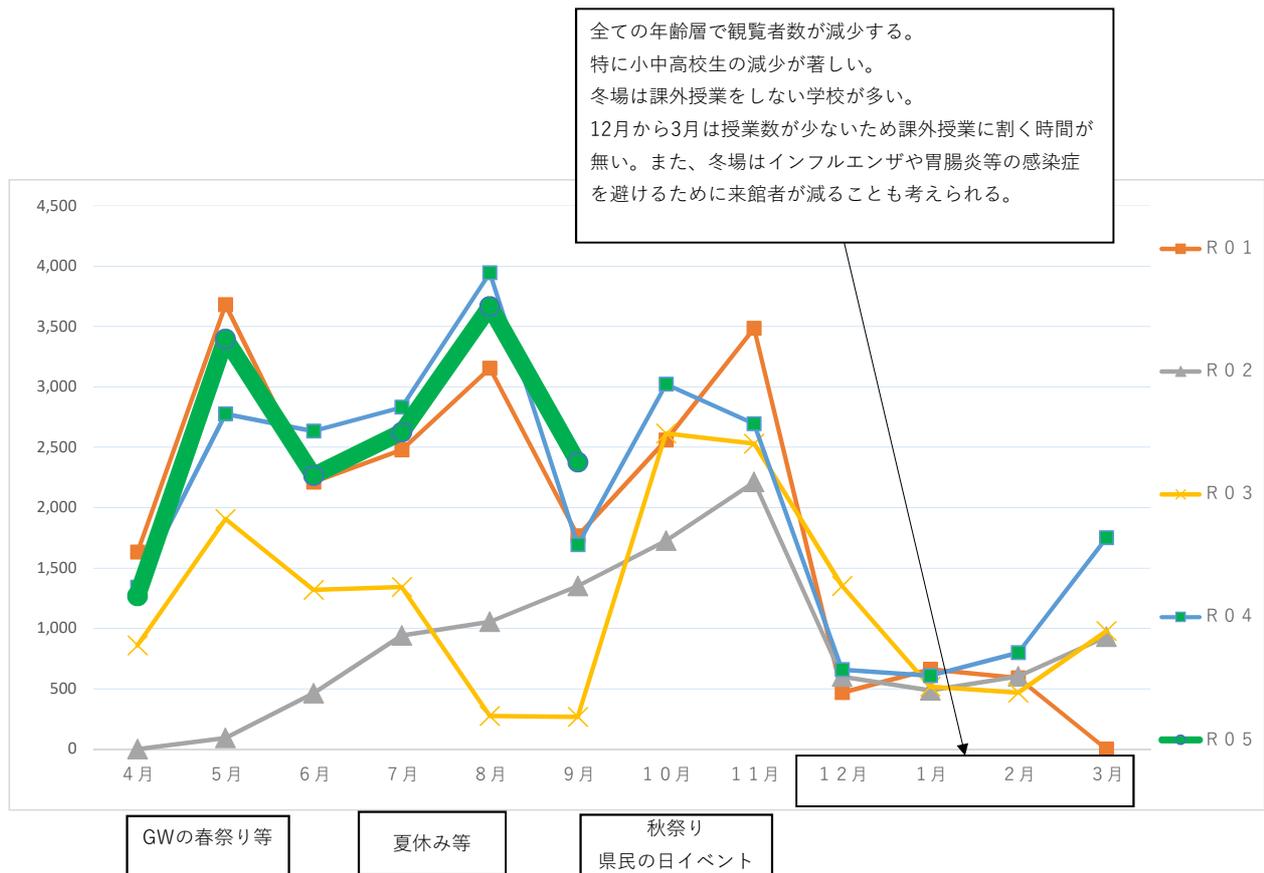
- 考古博物館の利用者とは、考古博物館の施設、提供するサービスを利用した者および考古博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。
- ここに示す利用者数は、令和5年9月末までの実績である。



2 常設展観覧者数過年度比較

単位：人

常設展 観覧者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	9月末 まで	合計
R 0 1	1,630	3,679	2,209	2,477	3,154	1,766	2,558	3,484	468	662	591	0	14,915	22,678
R 0 2	0	93	462	941	1,055	1,350	1,726	2,212	600	488	602	931	3,901	10,460
R 0 3	860	1,905	1,320	1,343	276	268	2,615	2,531	1,350	519	469	979	5,972	14,435
R 0 4	1,341	2,776	2,634	2,830	3,943	1,693	3,021	2,694	659	609	799	1,751	15,217	24,750
R 0 5	1,270	3,396	2,266	2,625	3,666	2,376							15,599	15,599



3 学校関係利用状況

令和5年9月末現在

県内＋県外 利用の状況	R5年度 (9月末)		R4年度 (3月末)		R3年度 (3月末)		R2年度 (3月末)	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
施設利用 (常設展)	76件	3,739人	130件	7,034人	104件	5,275人	70件	3,099人
小学校	52件	2,469人	99件	4,748人	84件	3,965人	50件	2,316人
中学校	19件	735人	24件	1,294人	17件	677人	16件	399人
高校	5件	152人	3件	123人	2件	75人	3件	61人
その他 (児相など)	0件	0人	4件	184人	1件	24人	1件	23人
引率者	－	383人	－	685人	－	534人	－	300人
職場体験	22件	42人	5件	9人	0件	0人	1件	1人
教材貸出 (古代衣装)	9件	－	10件	－	2件	－	6件	－
合　　計	107件	3,781人	145件	7,043人	106件	5,275人	77件	3,100人

4 外国人利用者数

令和元年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	13	3	16	15	25	72	春季企画展 4/20～6/16
7月～9月	2	10	6	11	5	34	夏季企画展 7/13～8/25
10月～12月	37	0	2	14	70	123	特別展開催(縄文文化の頂点)10/2～11/24 冬季企画展 12/7～
1月～3月	0	7	0	6	1	14	冬季企画展 ～1/26 臨時休館 2/28～
合計	52	20	24	46	101	243	中国21.4% 韓国8.2% アジア9.9% 欧米18.9% 他41.6%

令和2年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	0	0	0	4	0	4	臨時休館 ～5/21
7月～9月	5	0	4	2	2	13	夏季企画展 7/18～8/23 秋季企画展 9/8～
10月～12月	0	1	9	7	0	17	秋季企画展 ～11/23 冬季企画展 12/5～
1月～3月	0	2	2	4	5	13	冬季企画展 ～1/24 わたしたちの研究室 2/13～3/7 山梨の遺跡展 3/13～
合計	5	3	15	17	7	47	中国10.6% 韓国6.4% アジア31.9% 欧米36.2% 他14.9%

令和3年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	3			3	7	13	山梨の遺跡展 ～4/11 春季企画展 4/18～6/13
7月～9月	1			2	2	5	夏季企画展 7/17～8/22 臨時休館 8/8～9/12 特別展開催(甲府城のすべて)9/30～
10月～12月			1	4		5	特別展開催 ～11/23 冬季企画展 12/11～
1月～3月							冬季企画展 ～1/23 わたしたちの研究室 2/12～3/6 山梨の遺跡展 3/12～
合計	4	0	1	9	9	23	中国17.4% 韓国0% アジア4.4% 欧米39.1% 他39.1%

令和4年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	5	0	2	15	1	23	山梨の遺跡展 ～4/10 春季企画展 4/16～6/12
7月～9月	13	8	7	16	0	44	山の洲文化財交流展 7/16から8/28 特別展開催(甲斐の勇者)9/28～
10月～12月	20	1	4	14	0	39	特別展開催 ～11/23 冬季企画展 12/10～
1月～3月	17	3	8	7	0	35	冬季企画展 ～1/22 わたしたちの研究室 2/11～3/5 山梨の遺跡展
合計	55	12	21	52	1	141	中国37.9% 韓国9.5% アジア12.0% 欧米39.6% 他1.0%

令和5年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	13	0	11	22	19	65	山梨の遺跡展 ～4/9 春季企画展 4/15～6/11
7月～9月	18	4	7	21	1	51	特別展開催(山梨の縄文世界)7/8～ 特別巡回展開催(発掘された日本列島)9/16～
10月～12月						0	
1月～3月						0	
合計	31	4	18	43	20	116	中国26.7% 韓国3.5% アジア15.5% 欧米37.1% 他17.2%

・令和5年度の外国人利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響前である令和元年度の水準に戻ってきている。(9月末時点)

(4) その他

1 考古博物館所蔵土器買い戻しに係る損害賠償請求事件の和解等について

○ 経緯

- 平成31年に、考古博物館収蔵の土器が元職員により第三者に売り払われた事案があり、県では当該第三者から土器を買い戻した。(令和元年度第2回山梨県考古博物館協議会報告事項)
- 県は、元職員に対し買い戻しに要した経費の損害賠償金の支払いも求める訴訟を提起し、甲府地方裁判所において裁判を進行してきた。
- 令和5年1月、甲府地方裁判所から和解の勧告があり、県・被告双方が応じたため、3月に和解が成立した。

○ 和解の概要

- 被告は、県に対して解決金55万円を、令和5年4月7日を期限に支払う。

○ 損害賠償請求事件に係る土器の概要

1. 原町農業高校前遺跡(北杜市)
縄文時代中期 深鉢形土器



2. 北堀遺跡(笛吹市)
縄文時代中期 深鉢形土器



○ 収蔵品管理

- 鍵の使用簿の作成・設置
- 収蔵品管理責任者の設置
- 出土品資料持ち出し簿の作成・設置
- 収蔵庫への立ち入り制限
- 定期的な収蔵品の確認
- 抽出検査の実施
- 収蔵品の写真及び実測図の保管棚への明示
- 収蔵庫における保管場所の見直し、保管棚への柵の設置と施錠
- 防犯カメラの増設

(4) その他

2 xRを活用した取り組みについて

1 AR

(1) アプリ「AR 古代望見ーよみがえれ！甲斐風土記の丘ー」

① 概要

甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園に数多く存在する古墳や遺跡を、カジュアルかつ多言語で体感可能なものとするため、開発したアプリケーション。CG 復元した築造時の古墳やその石室などを拡張現実で体験する事が可能なほか、多言語の音声ガイド、風土記の丘のストーリーを理解する発掘体験ゲームなどを加えたアプリケーション。R2 開発、R3 年度運用開始、本年度で運用 3 年目。

② 主な機能

(a) AR モード

銚子塚・丸山塚・大丸山古墳の墳丘や石室の復元 CG を現地で体験可能に。

(b) 展示品・遺跡音声ガイド

所蔵品や遺跡・古墳の音声ガイド。ナレーションは元 NHK の松平定知氏。

(c) 発掘体験ゲームモード

園内の過去に発掘がなされた場所のうち 22 地点を選定し、発掘を進めながら史跡や風土記の丘の内容について、歴史的理解を深めるゲームモード。

③ 今年度までの実績

ダウンロード総数：14,393 件（9 月 30 日現在）



アプリホーム画面



AR モードで鑑賞する銚子塚古墳



発掘体験で出土した副葬品

2 VR

(1) 日本文化財 VR ミュージアム

ゲーム配信プラットフォーム「Steam」により配信中の VR アプリ「日本文化財 VR ミュージアム」に当館より 3D モデルを提供。VR ゴーグルが必須となりますが、フォトグラメトリにより作成した縄文土器・土偶の超高精細な 3D モデルを、自由に鑑賞し、詳細な観察が可能な仮想体験を提供しています。ダウンロード数は 9 月 30 日現在、15,179 件。配信 URL : <https://store.steampowered.com/app/2139520/VR/>



日本文化財 VR ロゴ (左の土器は当館所蔵品)



山梨県立考古博物館ルーム (土器・土偶計 30 点を収蔵庫風に展示)



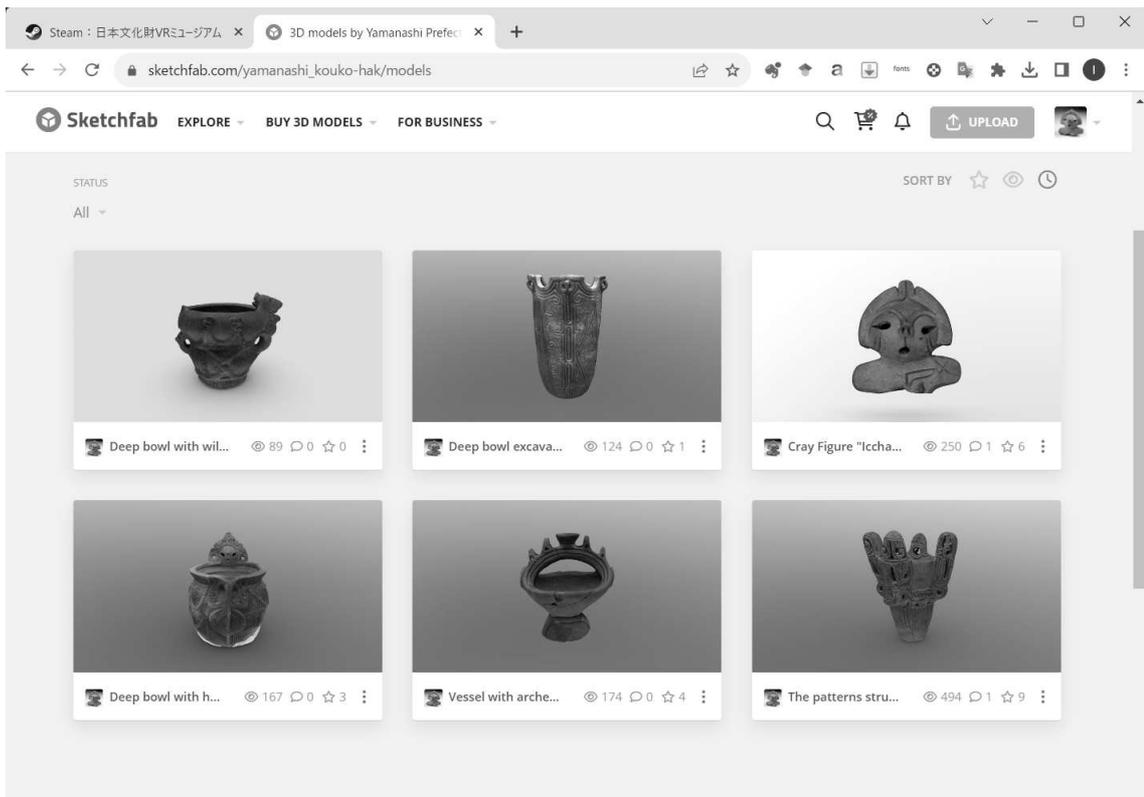
土器をとって、自由に観察可能

3 縄文土器 3次元モデルの公開

3D モデル共有サイト「Sketchfab」にて、縄文土器や土偶等の 3次元モデルデータを公開（URL：右の QR コード）。VR ゴーグルなどの特別な機材を必要とせず、スマホや PC で簡単に縄文土器などの文化財に触られます。現在までに土器 5 点、土偶 1 点、計 6 点をアップロードしています。より考古資料を親しみやすく提示が可能かと思われまますので、今後も、フォトグラメトリにより 3次元データを増やし、アップロードを継続していきたいと考えています。



URL の QR コード



これまで公開してきた 3次元モデル 6 点

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

別表第一 知事の附属機関(簡略)

山梨県立美術館協議会
山梨県考古博物館協議会
山梨県地方産業教育審議会
山梨県文学館協議会

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 知事の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

山梨県考古博物館協議会運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、博物館法第20条、山梨県附属機関の設置に関する条例（以下「条例」という。）及び山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（以下「規則」という。）に定める山梨県考古博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 協議会は、山梨県立考古博物館（以下「館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応じ、中・長期的な課題等について調査・審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第3条 協議会を構成する委員は、条例第4条別表第1の定めに従い15人以内とする。

2 前項15人のうち2人は公募委員とし、公募委員選考委員会要領により開催される公募委員選考委員会で選考する。

3 協議会を構成する委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 観光分野の関係者

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員の辞職等により新たに委員を補充したときは、その委員の任期は前委員の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないが、原則一度限りとする。

(会長等)

第5条 規則第4条の規定により、協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は委員の互選によりこれを定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長及び副会長の再任は、妨げないものとする。

5 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

7 会長及び副会長は事務局が作成する議事録を確認し、必要に応じ修正等の指示を行うものとする。

(会議)

第6条 協議会は会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、必要に応じて書面またはオンラインによる開催とすることができる。

3 協議会は、毎年2回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

5 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(傍聴)

第7条 協議会は、会長の許可を得た者が傍聴することができる。

2 協議会の傍聴に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(議事録)

第8条 協議会の議事録はこれを作成し、公開する。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、館に置く。

2 事務局に、事務局長及び事務局員若干名を置く。

3 事務局長は、館長をもって充てる。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、本協議会の運営等に関して必要な事項は、会長がこれを定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。